【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【公開番号】特開2018-69081(P2018-69081A)
【公開日】平成30年5月10日(2018.5.10)
【年通号数】公開・登録公報2018-017
【出願番号】特願2017-228668(P2017-228668)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２４Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和1年10月10日(2019.10.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体枠と、
遊技領域を設けてなる遊技盤と、
当該遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い遊技球を払い出す球払い出し装置と、
当該球払い出し装置により払い出される遊技球を貯留する皿と、
前記本体枠に設けてなる賞球タンクと、
前記球払い出し装置から払い出される遊技球を前記皿へ供給する球供給通路部材と、
上側に向け開口する１条のタンクレール部材と上下方向通路部材とを有するように、前記賞球タンクの下流側に設けられる球通路部材と、
前記賞球タンク内の遊技球を前記タンクレール部材に流下させるにあたり上下層の遊技球列に整流可能なように前記賞球タンクの底側後部に形成される整流可能部とを具備してなり、
前記タンクレール部材は、その中間部位にて、前記整流可能部からの上下層の遊技球列を単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動させる屈曲レール部を形成するとともに、当該屈曲レール部をその開口側から塞ぐように設けられる蓋部を有して、当該蓋部により、前記屈曲レール部の整流機能にあわせて、前記球払い出し装置に達する前に前記上下層の遊技球列の上層側の遊技球を下層側の遊技球の間に割り込ませて単層の遊技球列に均す均し手段を設けてなり、
前記上下方向通路部材は、前記タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させるようになっており、
前記球払い出し装置は、前記上下方向通路部材から順次流下する遊技球を前記球供給通路部材へ払い出すようになっている遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

上記課題の解決にあたり、本発明に係る遊技機は、請求項１の記載によれば、
本体枠（Ｂａ）と、
遊技領域（１２）を設けてなる遊技盤（Ｂｂ）と、
当該遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い遊技球を払い出す球払い出し装置（１３０）と、
当該球払い出し装置により払い出される遊技球を貯留する皿（３１０）と、
上記本体枠に設けてなる賞球タンク（１００）と、
球払い出し装置から払い出される遊技球を皿へ供給する球供給通路部材（１４０）と、
上側に向け開口する１条のタンクレール部材（１１０）と上下方向通路部材（１２０）とを有するように、賞球タンクの下流側に設けられる球通路部材（１１０、１２０）と、
賞球タンク内の遊技球をタンクレール部材に流下させるにあたり、上下層の遊技球列に整流可能なように賞球タンクの底側後部に形成される整流可能部（１０１ｃ、Ｄ、１０７）とを具備してなり、
タンクレール部材は、その中間部位にて、整流可能部からの上下層の遊技球列を単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動させるように屈曲レール部（１１０ｂ）を形成するとともに、当該屈曲レール部をその開口側から塞ぐように設けられる蓋部を有して、当該蓋部により、屈曲レール部の整流機能にあわせて、球払い出し装置に達する前に上記上下層の遊技球列の上層側の遊技球を下層側の遊技球の間に割り込ませて単層の遊技球列に均すようにしてなる均し手段（１１０ｄ）を設けてなり、
上下方向通路部材は、タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させるようになっており、
球払い出し装置は、上下方向通路部材から順次流下する遊技球を球供給通路部材へ払い出すようになっている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
これによれば、整流可能部が、賞球タンク内の遊技球をタンクレール部材に流下させるにあたり、上下層の遊技球列に整流可能なように賞球タンクの底側後部に形成されている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
このような構成を前提として、整流可能部が、賞球タンクの底側後部にて、賞球タンク内の遊技球を、タンクレール部材に流下させるにあたり、賞球タンク内の複数の遊技球のうち、当該賞球タンクの後側壁側にて流動する各遊技球が、上下層の遊技球列の上層側の遊技球を下層側の遊技球の間に割り込ませるように、整流可能に整流される。
また、球通路部材においては、上側に向け開口する１条のタンクレール部材が、屈曲レール部により、整流可能部からの上下層の遊技球列を単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動する。これに伴い、均し手段が、屈曲レール部をその開口側から塞ぐように設けてなる蓋部でもって、屈曲レール部の整流機能にあわせて、上下層の遊技球列を球払い出し装置に達する前に単層の遊技球列に均す。すると、上下方向通路部材が、タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させ、球払い出し装置が、遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い、上下方向通路部材から順次流下する遊技球を球供給通路部材へ払い出す。これに伴い、球供給通路部材が球払い出し装置により払い出される遊技球を皿へ供給す

る。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
要するに、タンクレール部材が、上述のように構成してなる屈曲レール部及び均し手段を備えて、上述のように構成してなる整流可能部からの上下層の遊技球列を、屈曲レール部でもって、単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動させるとともに、均し手段でもって、その蓋部にて、上下層の遊技球列を球払い出し装置に達する前に単層の遊技球列に均す。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３７】
このため、賞球タンク１００内の多くの遊技球が、上記整流可能部により、上述のごとく、上下層の遊技球列に整流されてタンクレール部材１１０の上流レール部１１０ａを通り屈曲レール部１１０ｂへ流動すると、当該上下層の遊技球列の各遊技球の流動速度が、屈曲レール部１１０ｂにより、その上流レール部１１０ａ側の開口端部にて良好に緩和される。これにあわせて、上下層の遊技球列が、均し壁部材１１０ｄによりその上下方向への均し機能のもとに、単層の遊技球列に近づくように整流され得る。ここで、屈曲レール部１１０ｂの上流レール部１１０ａに対する下方への屈曲角度及び後方への屈曲角度は、それぞれ、約４０度及び３５度となっているから、上下層の遊技球列を、単層の遊技球列に、より一層良好に近づけ得る。